

⑨ がん

現 状

○がんによる死亡者数は年々増加し、本市では愛知県同様死因の第1位となっています。

○平成20年度のがんによる死亡者は85人で、総死亡者数の27.6%を占めています。

○平成20年度の部位別死亡者数では、肺がんが最も多く以下、胃がん、大腸がん（結腸がん、直腸S字結腸がん）、膵臓がん、肝臓がんの順になっています。（図1）

○「愛知県衛生研究所資料」によると本市の肺がんによる平成16年から平成20年の標準化死亡比（SMR）※10は、男性が136.1 $P < 0.01$ 、女性が146.4 $P < 0.05$ となり、死亡比は全国より高い状態となっています。

（図2）

○平成21年度の検診受診率は胃がん19.0%、大腸がん43.5%、肺がん57.3%、子宮頸がん22.4%、乳がん27.3%となっています。どのがん検診も増加傾向にあります。

○平成21年度の乳がんと子宮頸がんの検診受診率は、女性特有のがん検診クーポン券と手帳を配布したことにより、向上しています。

図1

「平成20年愛知県衛生年報より」

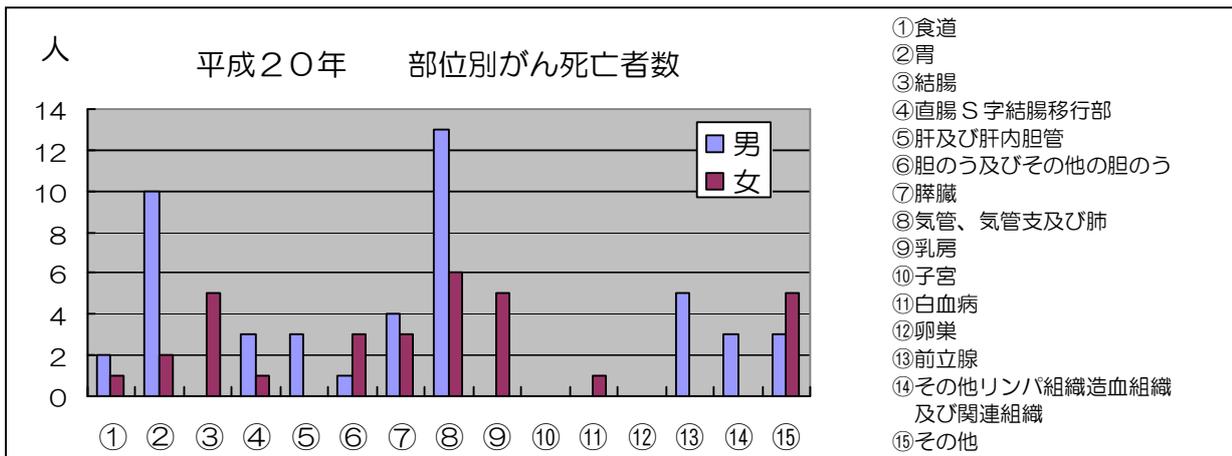
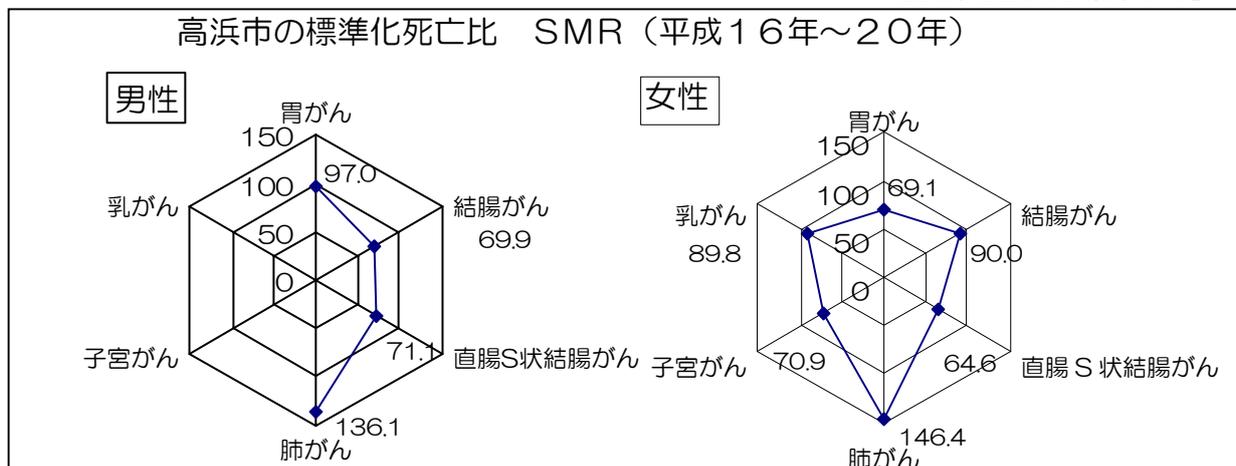


図2

「愛知県衛生研究所資料より」



課 題

- 肺がんの死亡者数が多いため、早期発見、早期治療に向け、検診の啓発活動が実施していく必要があります。
- 喫煙は肺がんをはじめ多くのがんの原因となるため、禁煙の必要性についての啓発活動が必要です。
- 女性特有の乳がん、子宮頸がんについては検診受診率が改善していますが、更なる啓発活動が必要です。
- 要精検者の多くが医療機関未受診となっているため、更なる受診勧奨と啓発活動が必要です。
- 喫煙、食生活、運動、飲酒など、がんの発症に関与する生活習慣の改善を促す必要があります。
- がんについての正しい情報を普及していく必要があります。

※ 10 「標準化死亡比（SMR）」（説明再掲）

標準化死亡比は、基準とした集団（全国を基準集団）の年齢階級別死亡率をその地域の年齢階級別人口に乗じて総和したものを期待死亡数として、それに対するその地域の死亡数（実際の死亡数）の比で表します。100であれば全国と同レベルということになります。100を下回れば全国より低い死亡率となります。



禁煙



適度な飲酒



運動



バランスの良い食事